

神奈川県の県立の高等学校および特別の支援の学校のの屋根を 用いたの太陽の光の発電の設備の設置のについて

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー（エスビー エナジー）」）は、2012年12月12日、神奈川県の県立の高等学校および特別の支援の学校のの屋根をの用いたの太陽の光の発電の設備の設置の事業者ののの公募の案件のにおいて、の発電の事業者のにの決定のしました。

今回 SB エナジーは、神奈川県内の県立高等学校および特別支援学校計 15 校の屋根の使用許可を受け、合計面積 5587.26 m²の屋根に出力規模約 775.2kW（0.7752MW）の発電を行う太陽光発電設備を設置します。各校舎の屋根で発電した電気は SB エナジーの一括管理のもと、電力会社に売電します。また、太陽光発電設備の設置施設が公立学校であることから、教育に資する提案として、ソフトバンクグループで教育事業を担う株式会社エデュアス（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤井 宏明）とともに、今後は県立高等学校および特別支援学校に対し、タブレット型端末など ICT を活用した教育環境の提供を進めてまいります。

SB エナジーは今後も公共施設等を対象とした発電事業の取り組みを強化し、自然エネルギー発電所の建設と運営を推進することで、自然エネルギーの普及・拡大を目指します。